

舞鶴ふるさと発見館(舞鶴市郷土資料館)だより

令和6年5月

☆ 阪 鶴 鉄 道 開 通 1 2 0 周 年 ☆



阪鶴鉄道に使われたレール

明治37年(1904)に京阪神と海軍鎮守府が開庁した舞鶴を結ぶ鉄道(阪鶴鉄道)が開通しました。

明治34年に鎮守府が開庁し、人も物資も舞鶴に集まるようになりましたが、大阪と舞鶴を結ぶ鉄道は阪鶴鉄道株式会社(大阪の阪、舞鶴の鶴を採って阪鶴鉄道)により、福知山までしか開通していませんでした。時あたかも日露戦争を直前にして、舞鶴への鉄道延伸を図る政府・軍部は福知山・新舞鶴間を官設として開通させました。こうして大阪—舞鶴間が開通し、この鉄道を阪鶴鉄道と呼んでいます。今回は120周年を記念して鉄道開通によってかわりゆく舞鶴をご紹介します。

会期;5月9日(木)~6月16日(日)

場所;舞鶴ふるさと発見館展示室(展示室入場に入館料が必要です)

展示解説;5月19日(日)13:30~14:30



大正12年(1923)由良川鉄橋工事写真

5月6日(月・祝)までは「宮津線開通100周年」を展示しています。

国鉄宮津線は阪鶴鉄道開通から遅れること20年、大正13年(1924)に開通しました。展示では左の由良川鉄橋建設の写真や中筋東川筆「天橋図」などを展示しています。

☆今月の糸井文庫

市指定文化財の糸井文庫を紹介するコーナーでは毎月テーマを決めて資料の入替えをおこなっています。今月のテーマは「文明開化」です。右の浮世絵には外国の船が停泊し、文明開化でにぎわう横浜が背景です。その他にも洋装の夫人、石版画の浮世絵など、文明開化を感じる作品を紹介します。



糸井文庫浮世絵「東海道一目眼千両」

☆市史ボランティアはじまる！

2023年度より新修『舞鶴市史』の編さんが始まりました。そして、今年度5月からは市民のボランティアによる資料整理も始まります。それにあわせて、舞鶴ふるさと発見館の同好会も日程を変更しています。同好会に興味をお持ちの方は気軽にご参加下さい。

同好会名	開催日
古典に親しむ会	第1第3火曜午後 → 第1第3金曜午後に変更
古文書を読む会	第2第4火曜午後 → 第2第4金曜午後に変更
廻船同好会	第2第4火曜午前 → 第1第3木曜午後に変更
城郭研究会	第4土曜午前（変更なし）
田辺藩裁判資料研究会	第4土曜午後（変更なし）

※午前は 10:00～12:00、午後は 13:30～15:30

お問い合わせは

舞鶴ふるさと発見館（舞鶴市郷土資料館）

（受付時間 9:00～16:30）

TEL:0773-75-8836・FAX:0773-77-1314

住所:舞鶴市字南田辺1番地

（西総合会館1F北側）

展示室入場料:大人 100円、市外学生 50円

サロンスペース:無料

休館日:1日(水)・7日(火)・8日(水)・13日(月)・20日

(月)・27日(月)

